

農業委員会委員の応募及び推薦状況の詳細

No.	被推薦者（推薦を受ける者）・応募者								推薦者					他市等の農業委員等への応募の別	
	氏名	性別	年齢	職業	農業経営の状況		認定農業者	経歴		団体推薦					個人推薦
					営農類型	耕作面積				組織の名称	代表者名	構成員の数	構成員の資格		氏名、性別、年齢
		応募理由						年月	役職名等	推薦理由					
1	中田 裕子	女性	62	造園業経営	植木	6,000㎡	○	S63.7～R4.3	好樹園に勤務（主に山野草・植木栽培）	一般社団法人 川口市造園業協会	代表理事・会長 寺山 樹生	40社	建設業の許可を受けてから5年以上経過し川口市内に本社を置いて造園業を営み協会理事の同意を得た者		無
		川口はここ数年住みやすい町に選ばれるなど人口が増加し、都市化が進んでいます。一方、市の北部では生産緑地が数多く残っており、地場産業である植木栽培をはじめ、農業を維持しながら生活している人も少なくありません。 しかし、住宅開発等都市化と農地の維持がうまく共存できているかといえば決してそうではないように感じています。もちろん農業経営が抱える後継者問題や収支バランス等簡単に解決できる問題ではないことはわかっていますが、農業経営者が抱える問題を親身になって考えられると思い応募いたしました。						R4.3～	㈱好樹園 代表取締役就任	江戸時代から約400年続く植木の産地である安行は現在でも多くの方が緑地関連の仕事を生業としています。 中田氏も、1770年代(江戸10代将軍時代)から続く植木業を営む家に嫁ぎ、個人経営から法人経営へ経営形態を変え発展を続けている家業を支えてきました。仕事のためになると1級造園施工管理技士や2級土木施工管理技士の資格も取得し、経営にも参加するようになりました。 また、昔ながらの家長制度の中で30数年を過ごしてきた経験から現在農業経営者の抱える問題についても理解があります。 令和4年3月前社長であるご主人の急逝に伴い社長に就任し、従業員を束ね今までと変わらぬ会社経営を行っています。 当造園業協会においては前社長の意志を継ぎ、積極的に活動に参加してくれると期待しています。 現在、川口市では人口増加に伴う都市化と農業経営の両立の難しさや、農地税制問題や農業従事者の高齢化・後継者不足など極めて厳しい環境が取り巻く中、中田氏は農業委員としてその能力を如何なく発揮されるものと期待しております。					
2	山岡 宗義	男性	57	農業	花	10,000㎡	○	H2.4～	川口市又は長野県小諸市で花生産					石井貞夫 男性、64歳	無
		地域の農業発展の為に活動できればと思う。近年の都市農業において高齢化していく中、どうすれば若者の農業への参入ができるのか考えたい。 今後の川口市の農地がどの様に守られていくか農業委員として考えていきたい。						H29.7～R2.7	川口市農業委員会委員	自営の仕事の農作業もしっかりと行い、町会、地域の活動や行事などにも積極的に参加、皆とコミュニケーションもしっかり取れている。					
3	金園 祥彦	男性	44	会社役員 農業	野菜	500㎡	-	H16.7～H17.6	大学卒業後、オーストラリアへ留学しFarm Jobを経験。大規模農業の経営管理や戦略、スマート農業の技術を学習						無
		川口市は直近20年で農業経営耕地面積、農家戸数が約40%減少し耕作放棄地も増加しており非常に深刻な状況です。私はこの現状を打破するにはこれまでの枠組みに捉われない情報の拡散力が必要であると確信し応募いたしました。私は現在、SNS総フォロワー数約2万人、動画総再生数500万回を超えるアカウントを運用しており、情報の伝え方、広げ方を熟知しております。今は農業の魅力をSNSで戦略的に発信する時代です。 私が農業委員に選出されましたら、この発信力を最大限に活用し主に耕作放棄地の発生防止と新規就農の促進に注力し、川口市の農業課題を数値で実感できる形で改善することをお約束いたします。 現在、私自身も認定農業者の取得に向けて準備を進めており当事者意識を持ち様々な課題解決に取り組む覚悟です。農業委員会の構成に多様性と専門性をもたらし次世代に繋がる川口市の農業を築くため貢献したいと考えております。						H28.12～	LAND WATER株式会社を設立、代表取締役に就任						
								H30.5～R2.5	川口市緑化対策委員に就任。緑化施策に関する議案の審議や緑の基本計画の策定進捗管理を実施						
								R6.1～R6.12	埼玉県農林公社主催の就農予備校に入校し修了。農業の基礎及び実践的技術を習得						
								R7.10～	市内で約500㎡の耕作放棄地を借り受け再生、野菜の生産に従事。今年度、市内約5000㎡の耕作放棄地を借り受け生産基盤拡大を予定						

No.	被推薦者（推薦を受ける者）・応募者								推薦者					他市等の農業委員等への応募の別		
	氏名	性別	年齢	職業	農業経営の状況		認定農業者	経歴		団体推薦					個人推薦	
					営農類型	耕作面積				組織の名称	代表者名	構成員の数	構成員の資格		氏名、性別、年齢	
																推薦理由
応募理由								年月	役職名等							
4	沖田 保	男性	45	造園業	植木 野菜 果樹	17,754㎡	○	H14.4～	庭園管理、植木生産、野菜生産 (株)沖田園代表取締役社長					宇田川 好秀 男性、63歳	無	
		川口市の農業の発展に貢献したいと考えているため。								地域の農業者から信頼が厚く、責任感が有るので推薦いたします。						
5	小櫃 敏文	男性	63	農業	盆栽	4,000㎡	○	H12.5～H22.5	川口市農政審議委員就任	さいたま農業協同組合 安行支店	支店長 佐久間 裕一	16			被推薦者 小櫃敏文氏は長年、安行の盆栽業に従事するとともに、さいたま農業協同組合の理事を務め、地域農業の振興に多大なる貢献をされてきました。地域の農家とのネットワークが広く、現場の声を的確に把握・調整できる能力を備えています。植木の街・安行における農地制度の円滑な運用と、都市農業としての調和を図るために、小櫃氏の豊富な経験と指導力は不可欠であります。また、誠実な人柄で地域の信頼も厚く、農業委員として適任であると考え推薦いたします。	無
		川口市の農業は、大都市に隣接した都市型農業と調整地区の農業とで、それぞれに違った側面と問題を抱えており、個々の事案に丁寧に対処し本市農業の継続に尽力していきたい。又、新たな農業者の参農を今までとは違った視点と感覚で推進していきたい。そして、環境問題などでの緑化空間を守り、災害時には有効な空間の確保等、農地必要性など多くの問題に取り組んでいきたいと思い応募しました。	H15.9～	(農)JAあゆみ野安行園芸センター理事就任(現)												
			H17.3～	埼玉県輸出盆栽研究会 会長就任(現)												
			H17.4～R3.3	日本小品盆栽組合 理事就任												
			H29.6～	さいたま農協協同組合 理事就任(現)												
			H30.5～R5.5	農政審議委員再任												
			H31.4～	公益財団法人川口振興公社評議員就任 現(公財)川口勤労福祉サービスセンター評議員												
			R2.7～	川口市農業委員会委員就任(現)												